

平成 32 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
Ⅱ類	I類 A事業所のみを有する特定事業者 II類 B事業所を有する特定事業者(Ⅲ類の事業者を除く) III類 C事業所を有する特定事業者 IV類 任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	埼玉医療生活協同組合	
所在地	埼玉県羽生市下岩瀬446	
事業者番号	2201	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	3,320	kL/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床面積 10,000m <sup>2</sup> 以上の事業所)		m <sup>2</sup>
産業分類名 (中分類)	医療業	
分類番号 (中分類)	83	
事業活動の概要  (事業内容、従業員数、 資本金等)	医療業	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)		

## (3) 県内に設置している事業所

(自動転記)

事業所種別	事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(kL)
A、Bテナント等事業所			
A	220100	埼玉医療生活協同組合 皆野病院	1,072
B、C事業所			
B	220101	埼玉医療生活協同組合 羽生総合病院	2,248
合計			3,320

## (4) 公表方法

	インターネット利用による公表	アドレス	
○	事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	羽生総合病院 総務課
		所在地 1	埼玉県羽生市下岩瀬446
		閲覧可能時間 1	AM9:00~PM:17:00
		閲覧場所 2	
		所在地 2	
		閲覧可能時間 2	
	その他		

## (5) 公表の担当部署

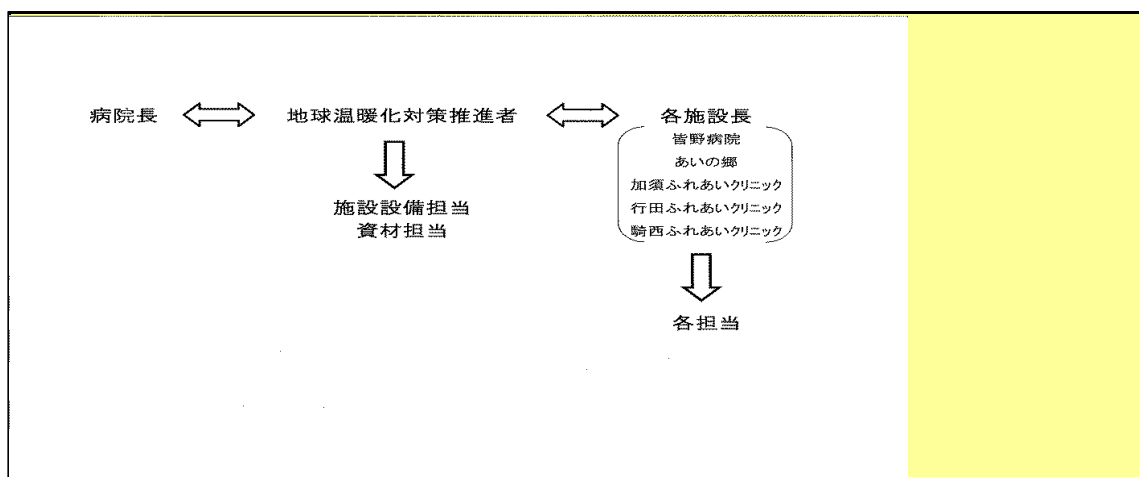
	名称 (複数可)	連絡先		
		電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1	総務課資材担当	048-561-3196	048-560-1159	sizai@fureaihosp.or.jp
2				
3				

※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

## 2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

不必要なエネルギー消費を無くし、最適で高効率なエネルギーの使用を目指す。

## 3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



## 4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量(事業所合算)の推移

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>)

	27年度 (2015年度)	28年度 (2016年度)	29年度 (2017年度)	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	4,277	3,603	4,530	7,259	7,468
その他ガス					
温室効果ガスの合計	4,277	3,603	4,530	7,259	7,468

## 5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

平成 32 年度

事業者番号	2201	事業所番号	220100
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	埼玉医療生活協同組合 皆野病院		前年度における事業所数	5
代表事業所所在地	市区町村	秩父郡皆野町		
	字・地番	皆野2031-1		
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)				
産業分類名(中分類)	医療業			
分類番号(中分類)	83			
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	医療業		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間	27	年度	～	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	温室効果ガス排出を前年度より0.2%削減			
	その他ガス				

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間	32	年度	～	36	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	温室効果ガス排出を前年度より0.2%削減			
	その他ガス				

## 事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	埼玉医療生活協同組合 皆野病院	秩父郡皆野町皆野2031-1
2	介護老人保健施設あいの郷	羽生市桑崎196-1
3	騎西ふれあいクリニック	加須市騎西1352-3
4	加須ふれあいクリニック	加須市下三俣1790-1
5	行田ふれあいクリニック	行田市持田3-15-23
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

日本産業規格A列4番

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	2,049	2,012	2,105	1,094	1,072

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO <sub>2</sub>		4,277	3,603	4,530	2,341	2,375
その他ガス	非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		4,277	3,603	4,530	2,341	2,375

(3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO<sub>2</sub>)

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位				0.0842	0.0709	0.0892	0.1184	0.1201
活動規模の指標	○	床面積	m <sup>2</sup>	50,794	50,794	50,794	19,773	19,773

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

A事業所

No	対策の区分			対策概要	実施年度	推計削減量 (t) (一年度当たり)
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	照明設備をLEDに変更	H32以降	
2	130200	空気調和設備・換気設備	13_空気調和設備の効率管理	エアコンの買換えを行う際には省エネ対応の商品を購入する。	H32以降	
3	110200	一般管理事項	11_主要設備等の保全管理	老朽した設備の修理、点検回数を増やす。	H32以降	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

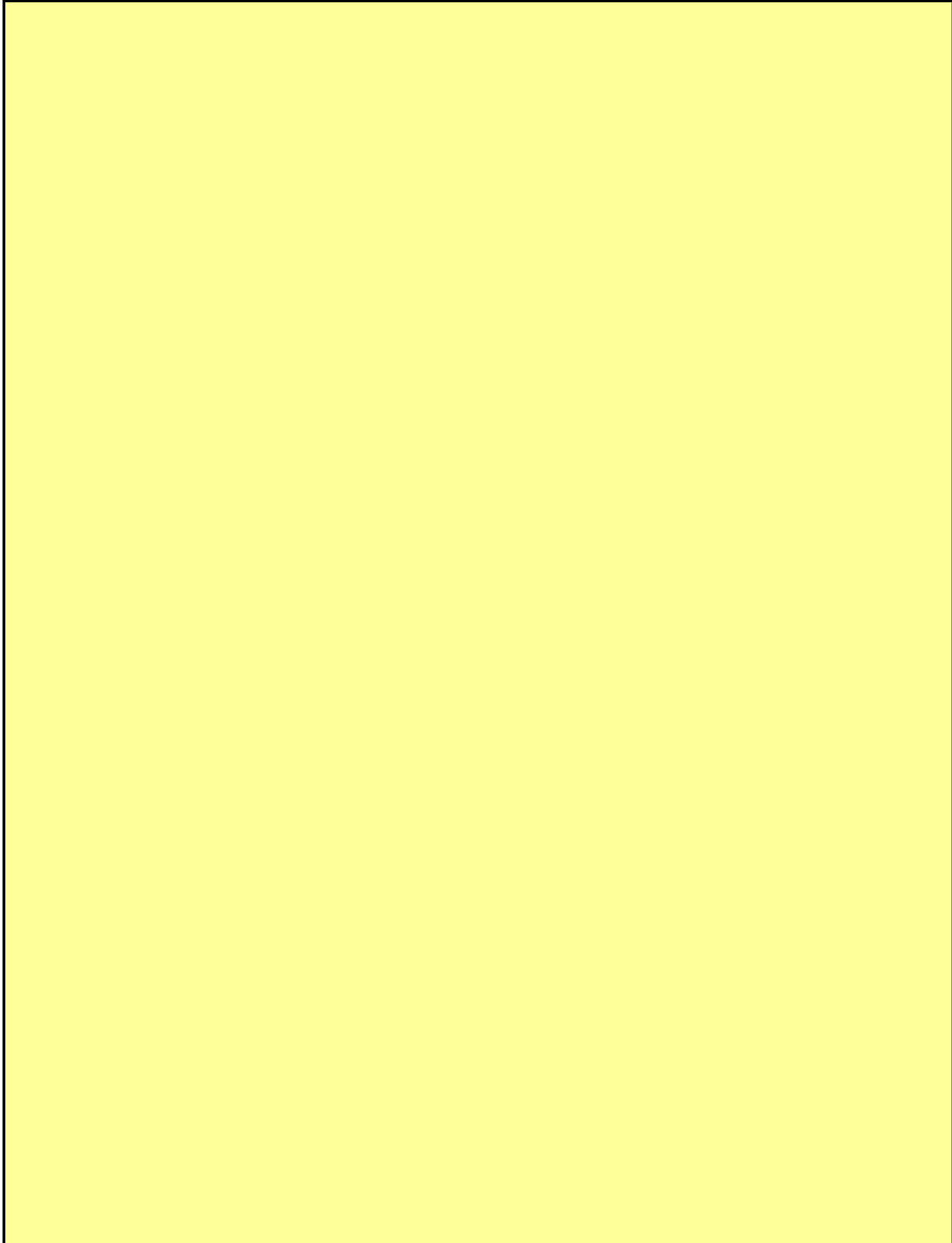
※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

(※希望者のみ記載)

自由記述欄





平成	32	年度	事業者番号	2201	事業所番号	220101
----	----	----	-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	B 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL以上の事業所 (種別Cの事業所を除く)
B	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	埼玉医療生活協同組合 羽生総合病院	
事業所所在地	市区町村	羽生市
	字・地番	下岩瀬446
産業分類名(中分類)	医療業	
分類番号(中分類)	83	
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	病床数311床

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間	27	年度	~	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	削減目標 CO2を昨年度から3%削減			
	その他ガス				
エネルギー起源CO <sub>2</sub> の削減目標の概要	排出可能上限量 (計画期間合計)		t-CO <sub>2</sub>		
	削減目標量 (計画期間合計)		t-CO <sub>2</sub>	事業所区分	

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間	32	年度	~	36	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	削減目標 CO2を昨年度から3%削減			
	その他ガス				

## 3-1 事業所の温室効果ガス排出量

## (1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
					2,245

## (2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

 CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>					4,918	5,093
その他 ガス	非エネルギー起源CO <sub>2</sub>					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計					4,918	5,093

 (3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO<sub>2</sub>)

 CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位							0.1585	0.1642
活動規模の指標	○	床面積	m <sup>2</sup>				31,021	31,021

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対策の区分			対策概要	実施年度	推計削減量(t) (一年度当たり)
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	110400	一般管理事項	11_エネルギー使用量の管理	デマンドでのエネルギー管理	H32以降	
2	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	エアコンの温度管理 夏季28℃ 冬	H32以降	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

A large yellow rectangular area intended for free text input, occupying most of the page below the header and section title.

平成 32 年度

## 地球温暖化対策計画・実施状況報告

## 1 地球温暖化対策事業者の概要

## (1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
I 類	I 類 A事業所のみを有する特定事業者
	II 類 B事業所を有する特定事業者 (III 類の事業者を除く)
	III 類 C事業所を有する特定事業者
	IV 類 任意事業者

## (2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	末吉工業株式会社	
所在地	埼玉県北足立郡伊奈町小室10157	
事業者番号	2202	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	2,164	kL/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床面積 10,000m <sup>2</sup> 以上の事業所)		m <sup>2</sup>
産業分類名 (中分類)	輸送用機械器具製造業	
分類番号 (中分類)	31	
事業活動の概要  (事業内容、従業員数、 資本金等)	自動車車体、付随車製造業 従業員231人	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)		

(3) 県内に設置している事業所

(自動転記)

事業所種別	事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(kL)
A、Bテナント等事業所			
A	220200	末吉工業 株式会社	2,164
B、C事業所			
合計			2,164

(4) 公表方法

	インターネット利用による公表	アドレス	
○	事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	本社
		所在地 1	埼玉県北足立郡伊奈町小室10157
		閲覧可能時間 1	平日9:00~17:00
		閲覧場所 2	
		所在地 2	
		閲覧可能時間 2	
	その他		

(5) 公表の担当部署

	名称 (複数可)	連絡先		
		電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1	設備管理G	048-721-3187	048-721-9722	
2				
3				

※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

## 2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

- 1、基本方針 環境目標を設定して管理することで環境マネジメントシステムの継続的な改善に努める。
- 2、環境に関する法的要求等を順守するための自主的な環境への取り組みを進め環境保全に努める。
- 3、事業活動に伴うCO<sub>2</sub>排出量の削減を環境管理重点テーマとして取り上げる。

## 3 地球温暖化対策における事業者の推進体制

環境管理責任者→エネルギー管理統括者→地球温暖化対策推進者

## 4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量(事業所合算)の推移

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>)

	27年度 (2015年度)	28年度 (2016年度)	29年度 (2017年度)	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	4,641	4,487	4,832	4,775	4,508
その他ガス					
温室効果ガスの合計	4,641	4,487	4,832	4,775	4,508

## 5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

平成 32 年度

事業者番号	2202	事業所番号	220200
-------	------	-------	--------

## 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

## 1 事業所の概要

## (1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
-------	------------------------------------

## (2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	末吉工業 株式会社	前年度における事業所数	2
代表事業所所在地	市区町村	埼玉県北足立郡伊奈町	
	字・地番	小室10157	
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)			
産業分類名(中分類)	輸送用機械器具製造業		
分類番号(中分類)	31		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	自動車車体、付随車製造業	

## 2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

## (1) 第2計画期間の削減目標

計画期間	30	年度	～	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	2018年度エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量4775t-CO <sub>2</sub> に対し削減計画の削減率を毎年1.5%改善する			
	その他ガス				

## (2) 第3計画期間の削減目標

計画期間	32	年度	～	36	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	2018年度エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量4775t-CO <sub>2</sub> に対し削減計画の削減率を毎年3%以上を目指す			
	その他ガス				



## 事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	末吉工業 株式会社	埼玉県北足立郡伊奈町小室10157
2	末吉工業 株式会社 上尾工場	埼玉県上尾市大字平方領領家一本木636
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

日本産業規格A列4番

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	2,199	2,142	2,337	2,283	2,164

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>)

	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	4,641	4,487	4,832	4,775	4,508
その他ガス	非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
	メタン				
	一酸化二窒素				
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六フッ化イオウ				
	三フッ化窒素				
温室効果ガスの合計	4,641	4,487	4,832	4,775	4,508

(3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO<sub>2</sub>)

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位				0.6095	0.5904	0.5752	0.5552	0.5275
活動規模の指標	○	生産量	t/年	7,615	7,600	8,400	8,600	8,546

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

A事業所

No	対策の区分			対策概要	実施年度	推計削減量 (t) (一年度当たり)
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	110400	一般管理事項	11_エネルギー使用量の管理	デマンド計による電力量の監視 第三計画期間も継続	H26以前	
2	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	室内温度を夏季28℃ 冬季20℃に設定 第三計画期間も継続	H26以前	
3	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	LED照明への入れ替え	H28年度	15
4	360700	ポンプ、ファン、ブLOWER、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	コンプレッサー インバーター化	H27年度	30
5	150300	受変電設備、照明設備、電気設備	15_事務用機器等の管理	退社時におけるOA機器等の主電源OFFの徹底 第三計画期間も継続	H26以前	1
6	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	高効率ボイラーの導入	H28年度	20
7	370700	電動応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	レーザー加工機 発振器エコモード搭載の設備を導入	H31年度	20
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

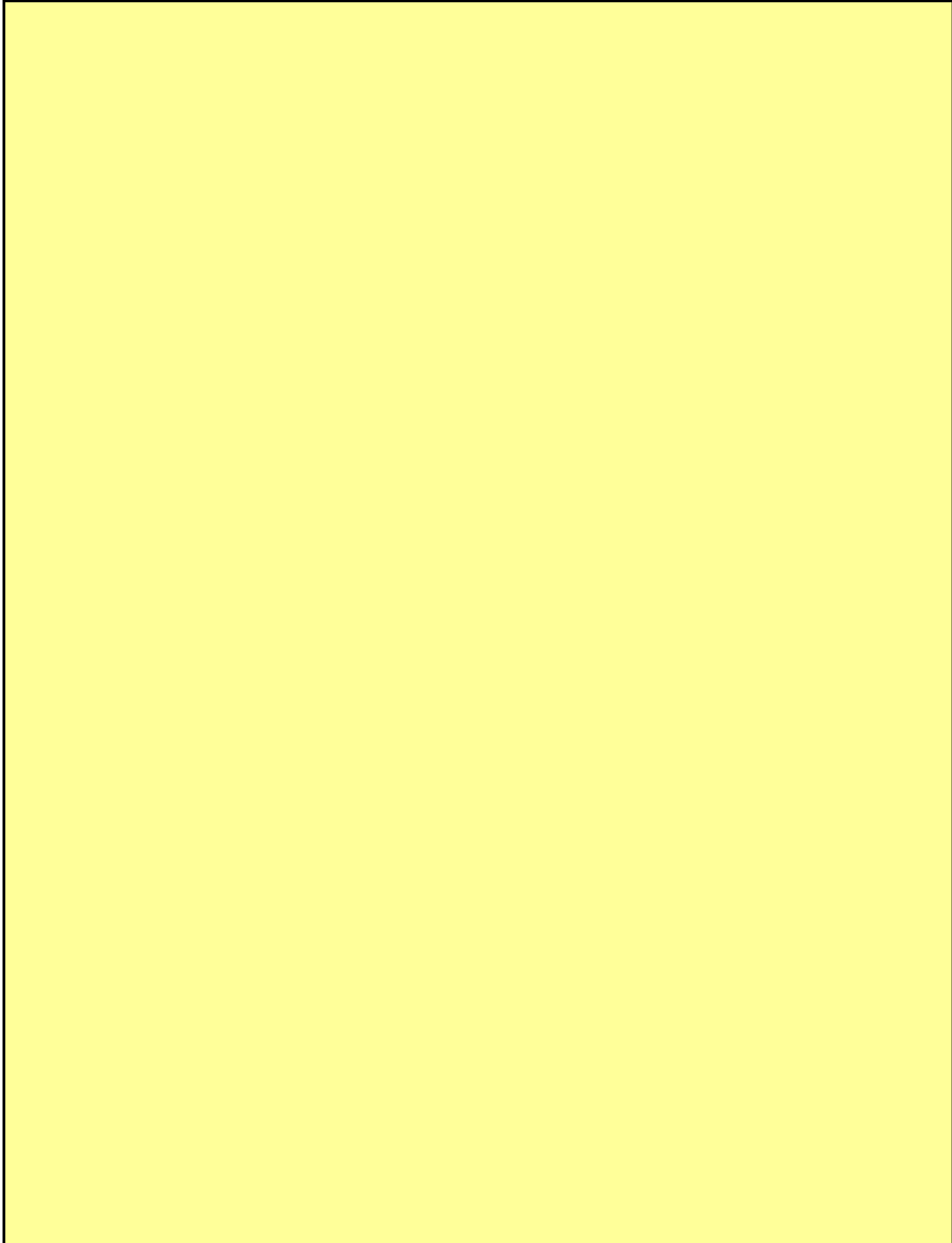
※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

(※希望者のみ記載)

自由記述欄



平成 32 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
IV類	I類 A事業所のみを有する特定事業者 II類 B事業所を有する特定事業者(III類の事業者を除く) III類 C事業所を有する特定事業者 IV類 任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	JR東日本スポーツ株式会社	
所在地	東京都豊島区南大塚三丁目33番地1号 JR大塚南口ビル7階	
事業者番号	2203	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	1,498	kL/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床面積 10,000m <sup>2</sup> 以上の事業所)		m <sup>2</sup>
産業分類名 (中分類)	その他の生活関連サービス業	
分類番号 (中分類)	79	
事業活動の概要  (事業内容、従業員数、 資本金等)	<b>【会社設立】</b> ・1978年3月 株式会社スポーツ・クエイト・サービス ・1989年6月 株式会社ジェアール東日本スポーツに変更 ・2018年7月 JR東日本スポーツ株式会社に變更 <b>【事業内容】</b> ・フィットネスクラブ、スイミングクラブ等スポーツ施設の建設・運営 ・フットサルクラブ、リラクゼーションスポットの運営 ・スポーツ事業の受託 ・介護予防サービス事業 <b>【資本金】</b> 4億円	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)		

(3) 県内に設置している事業所

(自動転記)

事業所種別	事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(kL)
A、Bテナント等事業所			
A	220300	ジェクサー・フィットネス&スパ大宮	1,498
B、C事業所			
合計			1,498

(4) 公表方法

	インターネット利用による公表	アドレス	
○	事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	本社
		所在地 1	東京都豊島区南大塚三丁目33番地1号
		閲覧可能時間 1	10:00~16:00(月~金・祝祭日を除く)
		閲覧場所 2	
		所在地 2	
	その他		

(5) 公表の担当部署

	名称 (複数可)	連絡先		
		電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1	総合企画開発部門 環境マネジメント室	03-3980-8671	03-3980-8672	
2				
3				

※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

(6) (IV類(任意事業者)のみ記入) 県による公表の可否

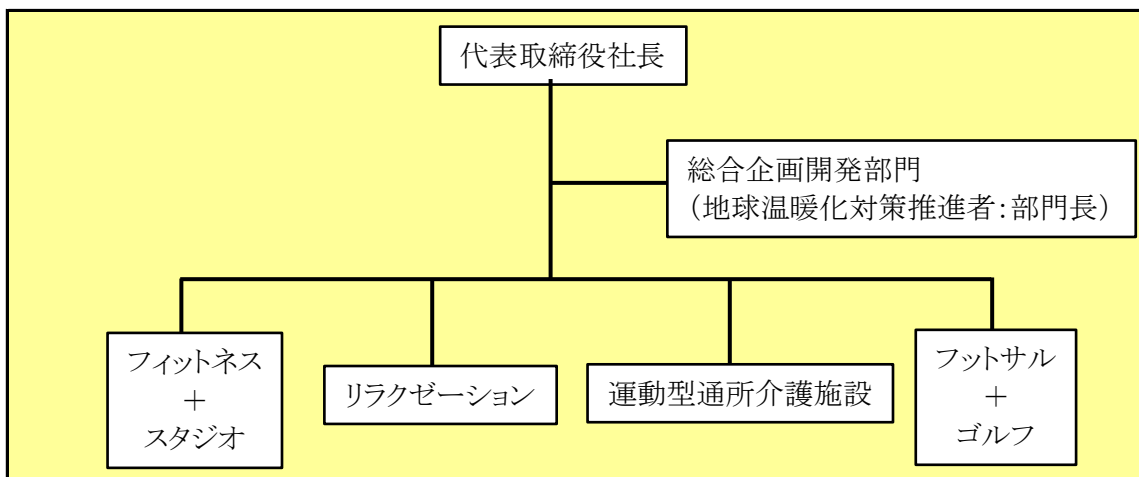
県による報告書の公表を希望	する
---------------	----

## 2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

◆取組方針

- ・地域の健康づくりと環境の保護に貢献します。
- ・環境関連法令その他の要求事項を遵守します。
- ・東日本旅客鉄道㈱及びJR東日本グループ会社と連携して、省エネルギー化、CO2削減に努めます

## 3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



## 4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量(事業所合算)の推移

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>)

	27年度 (2015年度)	28年度 (2016年度)	29年度 (2017年度)	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>				3,017	2,921
その他ガス					
温室効果ガスの合計				3,017	2,921

## 5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

平成 32 年度

事業者番号	2203	事業所番号	220300
-------	------	-------	--------

## 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

## 1 事業所の概要

## (1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

## (2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	ジェクサー・フィットネス&スパ大宮	前年度における事業所数	13
代表事業所所在地	市区町村	埼玉県さいたま市大宮区	
	字・地番	錦町91-4	
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)			
産業分類名(中分類)	その他の生活関連サービス業		
分類番号(中分類)	79		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	フィットネスクラブ <sup>※</sup> 、スイミングクラブ <sup>※</sup> 等スポーツ施設の運営	

## 2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

## (1) 第2計画期間の削減目標

計画期間	27	年度	～	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	2018年度のA事業所全体の実績(0.1916 t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> )を基準として、原単位を毎年1%ずつ改善していきます。			
	その他ガス				

## (2) 第3計画期間の削減目標

計画期間	32	年度	～	36	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	第2計画期間に継続して、2018年度の排出量原単位(0.1916 t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> )を基準として、原単位を毎年1%ずつ改善していきます			
	その他ガス				



## 事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	ジェクサー・フィットネス&スパ大宮	埼玉県さいたま市大宮区錦町91-4
2	ジェクサー・フィットネス&スパ戸田公園	埼玉県戸田市本町4-10-3
3	ジェクサー・フィットネス&スパ浦和	埼玉県さいたま市浦和区高砂1-16-12 JR浦和駅西口ビル 5階～7階
4	ジェクサー・ライトジム 大宮店	埼玉県さいたま市大宮区錦町630番地
5	ジェクサー・フィットネススタジオ リリア川口店	埼玉県川口市川口3-1-1 川口総合文化センターリリア8・9F
6	ジェクサー・フィットネススタジオ ビーンズ西川口店	埼玉県川口市並木2-20-1 Beans西川口5F
7	ジェクサー・フットサルクラブ ルミネ大宮店	埼玉県さいたま市大宮区錦町630番地
8	ジェクサー・プラチナジム 南浦和店	埼玉県さいたま市南区南浦和2-34-9
9	ジェクサー・プラチナジム 武蔵浦和店	埼玉県さいたま市南区内谷6-5-2
10	ジェクサー・プラチナジム コトニア武蔵浦和店	埼玉県さいたま市南区鹿手袋3-15-21
11	リラクゼーションスポット・リラクゼ ルミネ大宮店	埼玉県さいたま市大宮区錦町630
12	リラクゼーションスポット・リラクゼ 武蔵浦和店	埼玉県さいたま市南区别所7-12-1 ビーンズキッチン内
13	リラクゼーションスポット・リラクゼ アトレ浦和店	埼玉県さいたま市浦和区高砂1-16-12 アトレ浦和WestArea4階
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

日本産業規格A列4番

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
				1,547	1,498

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>)

	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				3,017	2,921
その他ガス	非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
	メタン				
	一酸化二窒素				
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六ふっ化いおう				
	三ふっ化窒素				
温室効果ガスの合計				3,017	2,921

(3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO<sub>2</sub>)

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>/指標)

	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位				0.1916	0.1855
活動規模の指標	○	床面積	m <sup>2</sup>		
				15,749	15,749

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

A事業所

No	対策の区分			対策概要	実施年度	推計削減量 (t) (一年度当たり)
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	110300	一般管理事項	11_計測及び記録の管理	毎月のエネルギー使用量に関する推移管理	H31年度	
2	110400	一般管理事項	11_エネルギー使用量の管理	店舗ごとにエネルギー消費原単位を算出し比較と要因分析を実施	H31年度	
3	330200	空調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	フィットネス施設におけるEHP設備の更新	H32以降	24
4	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	フィットネス施設のLED照明交換	H32以降	2
5	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	フィットネス施設におけるろ過ポンプへのインバーター設置	H32以降	47
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

2019年度は原油換算エネルギーが1,500kℓ未満であったが、継続管理を目的に任意提出を行こととする。(新型コロナウイルスの影響による営業日数縮小の影響あり)

平成 32 年度

## 地球温暖化対策計画・実施状況報告

## 1 地球温暖化対策事業者の概要

## (1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
I 類	I 類 A事業所のみを有する特定事業者
	II 類 B事業所を有する特定事業者 (III類の事業者を除く)
	III 類 C事業所を有する特定事業者
	IV 類 任意事業者

## (2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	株式会社 東横イン	
所在地	東京都大田区新蒲田1丁目7番4号	
事業者番号	2204	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	1,779	kL/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床面 積10,000㎡以上の事業所)		㎡
産業分類名 (中分類)	宿泊業	
分類番号 (中分類)	75	
事業活動の概要  (事業内容、従業員数、 資本金等)	【事業内容】 ビジネスホテルの運営 【 設立 】 昭和61年(1986年)1月23日 【店舗数】 318店舗 (2020年6月24日現在) (うち埼玉県内12店舗)  【従業員数】 13,211人 (2019年3月末日現在) (パートタイム従業員含む)  【資本金】 5,000万円 (2019年3月末日現在) (総資産1,482億円、純資産751億円)	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)		

## (3) 県内に設置している事業所

(自動転記)

事業所種別	事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(kL)
A、Bテナント等事業所			
A	220400	東横INN 埼玉三郷駅前	1,779
B、C事業所			
合計			1,779

## (4) 公表方法

インターネット利用による公表	アドレス	
○ 事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	株式会社 東横イン環境エネルギー研究所
	所在地 1	東京都大田区新蒲田1丁目7番地4号
	閲覧可能時間 1	平日10:00~17:00 (祝日は除く)
	閲覧場所 2	
	所在地 2	
	閲覧可能時間 2	
その他		

## (5) 公表の担当部署

	名称 (複数可)	連絡先		
		電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1	株式会社 東横イン環境エネルギー研究所	03-3736-1261	03-3736-1263	eneken@toyoko-inn.com
2	株式会社 東横イン メンテナンス部	03-3731-2772	03-5703-1054	eneken@toyoko-inn.com
3				

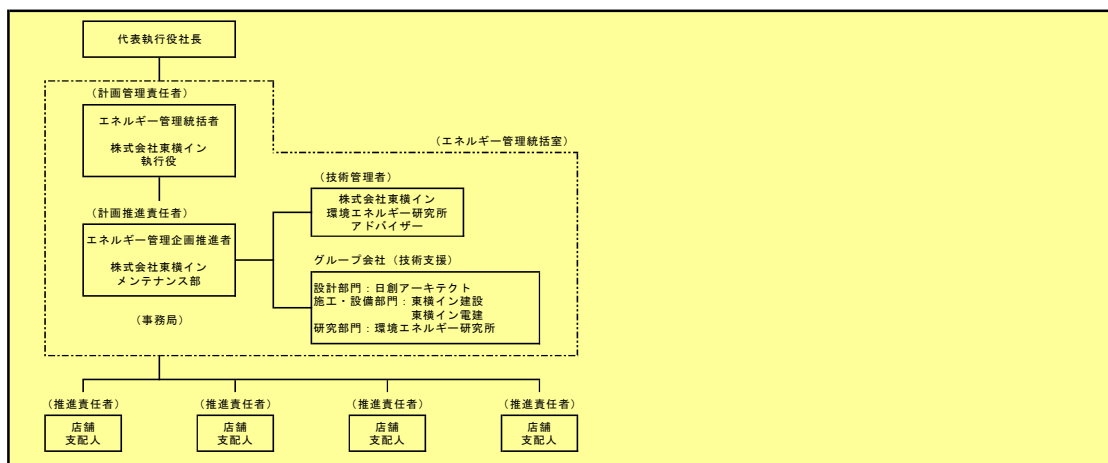
※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

## 2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

### [基本方針]

○東横インは地球温暖化防止対策を積極的に行い、企業の社会的責任を果たす。  
 ○ビジネスホテルのエネルギー消費量は宿泊されるお客様の人数や、お客様のご使用方法に左右されることが多いが、総排出量/稼働室数(1/1000)を原単位として削減目標を計画します。  
 運用のソフト面とハード面を駆使し、お客様のご理解のもとエネルギー消費の削減、そしてCO2排出の抑制を図る。  
 ○エネルギー消費量を、2019年度を基準として原単位で年1%削減する目標を設定し、全体的な取り込みを行う。  
 ○設備機器の更新時に高効率機器を積極的に採用し、省エネを図りCO2排出量の削減を図る。  
 ○設備投資としては、段階的にロビー、廊下及び客室内照明をLED化照明に変更して行く。

## 3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



## 4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量(事業所合算)の推移

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>)

	27年度 (2015年度)	28年度 (2016年度)	29年度 (2017年度)	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	2,438	2,514	2,682	2,885	3,662
その他ガス					
温室効果ガスの合計	2,438	2,514	2,682	2,885	3,662

## 5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

平成 **32** 年度

事業者番号 2204 事業所番号 220400

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
<b>A</b>	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	東横INN 埼玉三郷駅前	前年度における事業所数	12
代表事業所所在地	市区町村	三郷市	
	字・地番	早稲田1-3-5	
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)			
産業分類名(中分類)	宿泊業		
分類番号(中分類)	75		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	【事業内容】ビジネスホテル 【客室数】115室 【従業員数】30人(パートタイム従業員含む)	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間	<b>27</b>	年度	～	<b>31</b>	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)				
	その他ガス				

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間	<b>32</b>	年度	～	<b>36</b>	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	省エネ対策を進めてきたこと、及び異常気象による猛暑が続く中での、31年度の原単位6.16(t-co2)から年1%削減することは難しいが、達成出来るよう努める。			
	その他ガス				



## 事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	東横INN 埼玉三郷駅前	三郷市早稲田1-3-5
2	東横INN 和光市駅前	和光市丸山台1-10-7
3	東横INN 草加駅西口	草加市氷川町2124-15
4	東横INN さいたま新都心	さいたま市大宮区吉敷町4-262-1
5	東横INN さいたま西川口駅西口	蕨市南町3-22-8
6	東横INN 埼玉戸田公園駅西口	戸田市本町5-2-5
7	東横INN つくばエクスプレス八潮駅北口	八潮市大瀬1-3-7
8	東横INN さいたま岩槻駅前	さいたま市岩槻区本町1-2-3
9	東横INN 浦和美園駅東口	さいたま市緑区美園4-7-1
10	東横INN JR川口駅西口	川口市川口2-7-22
11	東横INN 熊谷駅北口	熊谷市筑波3-84-2
12	東横INN つくばエクスプレス三郷中央駅	三郷市中央1-14-2
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

日本産業規格A列4番

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	1,159	1,195	1,276	1,385	1,779

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO <sub>2</sub>		2,438	2,514	2,682	2,885	3,662
その他 ガス	非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		2,438	2,514	2,682	2,885	3,662

(3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO<sub>2</sub>)

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>/指標)

			計画期間				
			27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位			6.1201	6.3017	6.0089	5.9080	6.1689
活動規模の指標							
	○	稼働室数	稼働 1000室	398	399	446	488

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

A事業所

No	対策の区分			対策概要	実施年度	推計削減量(t) (一年度当たり)
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	削減目標の達成に向けた実行計画を建て進める(第三計画期間継続)	H26以前	
2	110200	一般管理事項	11_主要設備等の保全管理	設備等における性能維持や効率改善を目的とした保全計画、設備維持管理を適正に行う(第三計画期間継続)	H26以前	
3	140200	給湯設備、給排水設備、冷凍冷蔵設備、厨房設備	14_給排水設備の管理	トイレの洗浄水として、井戸水を使用する。シャワーに節水シャワーヘッドを使用し、節水対策を行う。(第三計画期間継続)	H26以前	
4	150100	受変電設備、照明設備、電気設備	15_受変電設備の管理	変電設備にトップランナー変圧器を使用及び進相コンデンサーを設置し力率改善を行い節電を図る。(第三計画期間継続)	H26以前	
5	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	蛍光灯、水銀灯を無くし、LEDに順次取替える、リネン中はタイマーにより2/3程度消灯トイレについては、人感センサーによる点滅(第三計画期間継続)	H26以前	
6	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	客室については、消し忘れ防止の為、カードキーによる制御方式にしている。(第三計画期間継続)	H27年度	
7	160200	昇降機、建物	16_建物の省エネルギー	客室内、外壁窓ガラスを二層とし断熱効果を図る、また夏季の直射日光を避けるため、この期間はカーテンを全室閉めるようにする。(第三計画期間継続)	H26以前	
8	110400	一般管理事項	11_エネルギー使用量の管理	エアコン及び換気扇等のフィルター清掃を定期的に行う。能力低下エアコンを高効率エアコンに順次取替える。(第三計画期間継続)	H26以前	
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

連泊プランとして、連泊されるお客様のリネン類の交換及びアメニティーグッズの補充を省略させて頂き、環境負荷の低減及び廃棄物の削減を図る。

客室のスリッパについても、使い捨てしないで洗って再利用出来るものを使用。

朝食に使い捨ての割り箸でなく、樹脂製の箸を採用し再利用している。

平成 32 年度

## 地球温暖化対策計画・実施状況報告

## 1 地球温暖化対策事業者の概要

## (1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
I 類	I 類 A事業所のみを有する特定事業者 II 類 B事業所を有する特定事業者 (III 類の事業者を除く) III 類 C事業所を有する特定事業者 IV 類 任意事業者

## (2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	GLP投資法人	
所在地	東京都港区東新橋一丁目5番2号汐留シティセンター	
事業者番号	2205	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	4,637	kL/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床面積 10,000m <sup>2</sup> 以上の事業所)		m <sup>2</sup>
産業分類名 (中分類)	貸金業、クレジットカード業等非預金信用機関	
分類番号 (中分類)	64	
事業活動の概要  (事業内容、従業員数、 資本金等)	①資産運用委託契約 ②財務代理契約 ③投資法人債管理委託契約/投資法人債委託契約 ④資産保管業務委託契約/一般事務委託契約/投資口事務 代行委託契約 ⑤物件情報提供契約 ⑥スポンサー・サポートに関する契約	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)	GLP投資法人	

(3) 県内に設置している事業所

(自動転記)

事業所種別	事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(kL)
A、Bテナント等事業所			
A	220500	GLP杉戸II	4,637
B、C事業所			
合計			4,637

(4) 公表方法

	インターネット利用による公表	アドレス	
○	事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所1	日本GLP株式会社 応接室
		所在地1	東京都港区東新橋1-5-2汐留シティセンター34階
		閲覧可能時間1	月～金 9:00～18:00 土日祝除く
		閲覧場所2	
		所在地2	
		閲覧可能時間2	
	その他		

(5) 公表の担当部署

	名称 (複数可)	連絡先		
		電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1	日本GLP(株)プロパティーマネジメント部	03-6858-2250	03-6858-2260	
2				
3				

※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

## 2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

GLPグループは、施設の設計とオペレーションプロセスを考える中で、省エネルギー施策推進を基本的な考えとしています。既存施設と新規開発の両方において、エネルギーの効率化を推進します。

本投資法人は上記方針に則り、環境に配慮した建物の保有、環境に配慮した設備の導入を積極的に行うとともに、物件取得検討時のデュー・デリジェンス・プロセスの中に、サステナビリティと環境保護についての項目チェックをルール化しており、本投資法人の資産運用業務が、社会におけるサステナビリティと環境保護に配慮したものであるよう最大限の注意を払っています。また本投資法人の運用する施設では、目標値を設定し、施設内のエネルギー・水使用量および廃棄物量のモニタリングを行っています。

さらに共用部における省エネルギー、廃棄物削減に努めるだけでなく、入居企業とエネルギー使用量・廃棄物量を共有し、使用状況に応じた省エネガイドの交付や、敷地内のアイドリングストップ推奨など、入居企業と一体となって環境負荷の低減に努めています。

## 3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



## 4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量(事業所合算)の推移

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>)

	27年度 (2015年度)	28年度 (2016年度)	29年度 (2017年度)	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>					9,111
その他ガス					
温室効果ガスの合計					9,111

## 5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

平成 32 年度

事業者番号

2205

事業所番号

220500

## 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

## 1 事業所の概要

## (1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

## (2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	GLP杉戸Ⅱ	前年度における事業所数	10
代表事業所所在地	市区町村	北葛飾郡杉戸町深輪	
	字・地番	398-2	
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)			
産業分類名(中分類)	貸金業、クレジットカード業等非預金信用機関		
分類番号(中分類)	64		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	事業内容:資産運用 従業員:GLP杉戸Ⅱ現場従事者4名	

## 2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

## (1) 第2計画期間の削減目標

計画期間		年度	～	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)			
	その他ガス			

## (2) 第3計画期間の削減目標

計画期間		32	年度	～	36	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	平成31年度(令和元年度)の排出量9,111t-CO <sub>2</sub> を基準として毎年1%ずつ改善していきます。				
	その他ガス					



## 事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	GLP杉戸Ⅱ	北葛飾郡杉戸町深輪398-2
2	GLP越谷Ⅱ	越谷市柳津団地2-2-1
3	GLP三郷Ⅱ	三郷市新三郷ららシティ3-2-1
4	GLP加須	加須市南篠崎1-5
5	GLP深谷	深谷市折之口字稜威ヶ原1900-2
6	GLP岩槻	さいたま市岩槻区古ヶ場2-9-10
7	GLP春日部	春日部市水角1190
8	GLP桶川	桶川市赤堀2-6
9	GLP杉戸	北葛飾郡杉戸町深輪398-1
10	GLP吉見	比企郡吉見町大字北吉見1
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

日本産業規格A列4番

### 3 事業所の温室効果ガス排出量

#### (1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
					4,637

#### (2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

 CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO <sub>2</sub>						9,111
その他 ガス	非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計						9,111

#### (3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況 (エネルギー起源CO<sub>2</sub>)

 CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>/指標)

			計画期間				
			27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量原単位							523.2205
活動規模の指標	生産量						
	○ 使用中延床面積	千㎡					17

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

A事業所

No	対策の区分			対策概要	実施年度	推計削減量(t) (一年度当たり)
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	省エネ対応チームの発足	H31年度	
2	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	LED照明への交換・計画	H31年度	
3	110300	一般管理事項	11_計測及び記録の管理	各施設エネルギー使用量の測定・集計	H31年度	
4	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	LED照明への交換・計画(H32年度も継続)	H32以降	
5	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	プロパティーマネジメント部、エンジニアリング部による情報交換会議の実施	H32以降	
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

A large yellow rectangular area intended for free text input, occupying most of the page's content space.